

令和5年度
「青森県農業グローバル人材育成海外研修」募集要領

1 本海外研修のねらい

グローバル経済の中で、競争力のある農業経営を実践できる将来の本県農業を担う人材を育成するため、県内高校生や学生が企画提案型で海外研修を実施することにより、本県農業の課題解決につながる有用な情報を収集するとともに、主体性と協調性を培い、農業への思いを一層高める機会を創出する。

2 海外研修企画書「農業未来図」の募集・企画競技等

(1) 海外研修企画書「農業未来図」の応募

ア 対 象

県内農業高校、県営農大学校又は県内大学で農業・農村の課題解決に向けて日頃から授業やゼミで学習している生徒・学生によるチーム。

1チーム5人程度であれば、同一校からの複数チームの応募を可とする。

イ 募集内容等

農業のスマート化、DX化、グローバル化、輸出戦略等の将来の本県農業の課題解決に向けた視点で「自ら学びたいこと」×「本県農業に役立つこと」を内容とし、アジア等を研修先とした企画書「農業未来図」（別紙様式1）。

企画競技会で選ばれた優れた研修企画の実施を県が支援。実施後は、報告会で発表。

ウ 募集期間

令和5年10月11日（水）～11月7日（火）

エ 応募方法等

応募者は、上記ウの募集期間内に以下の書類を下記応募先へメールで提出する。

- ① 企画書「農業未来図」の電子データ（ワード形式、別紙様式1）
- ② 企画競技会発表用の電子データ（パワーポイント形式、スライドサイズは4：3）
- ③ 旅行会社の見積書（PDF形式）
- ④ 企画競技会出席者及び発表者等の電子データ（ワード形式、別紙様式2）

ただし、②企画競技会での発表用データは、令和5年11月9日（木）までにメールで追加提出することを可とする。また、企画書や発表用資料への動画の使用は不可とする。

なお、見積書を提出できない場合は、行程や交通費、宿泊費など項目ごとの積算額及び経費の根拠（出典）を明記した見積書に準ずる資料を作成し、添付すること。

様式等は右記QRコード（県農業情報サイト「農ナビ青森」
<https://www.nounavi-aomori.jp>）から確認。



オ 応募先 青森県農林水産部 構造政策課 担い手育成グループ 今
(事務局) 〒030-8570 青森市長島1-1-1
TEL: 017-734-9463 / FAX: 017-734-8136
E-mail: ninaiteikusei@pref.aomori.lg.jp

(2) 企画競技会の開催

ア 日 時

令和5年11月14日(火) 13時30分～15時30分

※応募チーム数によって終了時刻の変更あり。

イ 場 所

青森県観光物産館アスパム 5階 「白鳥」

ウ 発表方法等

- ① 発表は、企画書と併せて提出したパワーポイントを使用して行うこととし、発表に必要な機材(パソコン、プロジェクター等)は事務局で準備する。
- ② 発表時間は、1チーム10分間(大幅に超過した場合は、打ち切りとする場合あり。)とし、質疑応答等を含めた所要時間を15分以内とする。
- ③ 時間経過は8分1鈴、10分2鈴、12分3鈴をもって発表者に告げる。
- ④ 発表者は、チーム代表1～2名として構わない。その際、発表者以外のチーム員等の出席は自由とする。
当日、出席するチーム員については、参加申込時に出席を報告する(別紙様式2)。ただし、出席に係る旅費等は各自の負担とする。また、服装は自由とする。
- ⑤ 出席者以外の生徒等を想定し、競技会をZoomでオンライン配信(視聴のみ)するので、希望する場合は参加申込時に併せて報告する(別紙様式2)。
※希望者がいない場合は、オンライン配信は実施しない。
- ⑥ 来場者及びオンライン視聴者は、他のチームの発表も聞くことができるものとする。
- ⑦ 発表データ以外の審査員等への配付物、試飲食の提供は禁止とする。

(3) 審査員

青森県農林水産部農林水産政策課長ほか 計5名予定

(4) 審査方法

審査方法は、事前の書類審査及び当日のプレゼンテーション審査について、下記基準(案)の採点で行う。

なお、採点は、発表時間2分以上の超過で合計点数から3点減点するものとする。

企画提案に関する審査項目及び採点基準(案)	
項目及び採点基準	基準点数
1 現状分析及び課題設定の背景等 (1) 現状の捉え方及び分析は適切か (2) 現状を踏まえた課題整理はできているか	10点 (5) (5)
2 企画提案内容等 (1) 自らの創意工夫(面白さ、独自性)があるか (2) 現状分析や課題整理に基づく組み立てか (3) 課題解決に向けた海外研修の必要性・意義が明確か (4) 研修後の波及効果(実現性、普及性)が期待できるか (5) 自らが将来の担い手となる可能性を感じるアイデアか	25点 (5) (5) (5) (5) (5)

3 発表方法及び態度 (1) 発表方法の工夫やわかりやすく示されたか (2) 各年代相応のわかりやすい説明ができていたか (3) 発表態度は良かったか	15点 (5) (5) (5)
合計(総合評価)	50点

(5) 採択チーム数及び県の支援

ア 採択数

審査員による採点及び協議により順位付けし、上位チームから予算の範囲内で採択する。採択するチーム数は、概ね4チームを想定。

イ 県が支援する経費

海外研修に係る経費のうち、保険料、交通費、携帯Wi-Fiレンタル代等を支援する。

視察や体験に係る経費、体験交流に係る資材等の配送料等は対象とするが、保険料、交通費を優先して支援するものとする。宿泊費、食費は対象外とする。

ウ 採択の結果通知

採択されたチームへは、後日チーム代表者及び所属校宛てに文書で通知する。交通費等の県支援額は、下記3のとおり、県が別途委託契約する旅行会社の確定後に改めて通知する。

3 海外研修の実施方法

(1) 旅行会社との事前打合せ及び旅行代金の支払い等

- ① 採択されたチームは、県が別途契約する旅行会社と海外研修の具体的な日程、視察先、行程及び経費などに関する打合せを行い、旅行代金を決定。
- ② 後日、旅行代金の総額から、県支援額（保険料及び交通費等の一部として、1人当たり12万円を目安に支援。）を除いた金額をその旅行会社が指定するルール（ツアー商品等の購入に関する通常の個別契約等に準拠）に沿って、各自支払うものとする。
- ③ なお、引率する県立学校の教職員の旅費は、各チーム2名分まで県職員等の旅費規程に基づき、県が全額負担する。ただし、それ以外の場合で引率者がいる場合は、旅費は学校等又は自己負担。

(2) 実施期間

各チームの希望を優先するが、原則として令和5年12月から令和6年2月末（卒業前）までとする。

4 報告会の開催

全チームの海外研修が終了した3月上中旬（予定）にオンライン併用形式で青森市内（県庁内予定）で報告会を開催する。

報告会では、各チームからの研修結果報告をメインに、参加者による意見交換を行う。

なお、報告会参加に係る旅費等は各自負担とする。